



輝く介護

第 47 号

2022 年(令和 4 年)
3 月 31 日発行

発行: 鎌倉市健康福祉部介護保険課

TEL. 0467(23)3000(代) FAX. 0467(23)7505

編集: 特定非営利活動法人 かまくら地域介護支援機構

〒247-0061 鎌倉市台 2-8-1 台在宅福祉サービスセンター内

TEL. 0467(46)0788 FAX. 0467(46)0059

<https://www.kamashien.com> e-mail: jimu@kamashien.com



認知症サポーター ステップアップ講座を開催

鎌倉市高齢者生活支援サポートセンターでは年2回登録会員(サポーター)向けにスキルアップ講座を開催してきましたが、今回は鎌倉市と協力して認知症サポーター養成講座を受講した会員以外の一般市民も参加出来る認知症サポーターステップアップ講座を開催しました。

会場は鎌倉商工会議所地下ホール、参加 66 名。鎌倉市役所職員による認知症の方々をサポートするチームオレンジについての説明後、特別養護老人ホーム「生田広場」施設長 神田けい子氏による『認知症の“あなた”の思いに心を寄せて』という内容で講演がありました。

認知症になったら何も出来なくなるのではなく感情は最後まで残る。認知症の方が何を思い、何を感じ、何をしようとしているかを理解しようと寄り添うことが大事。施設での認知症の入居者との会話や事例をユーモアを交えながらお話しされ、会場は温かい共感の輪に包まれました。講演の最後に認知症の方々の呟きを拾い集めた言葉を朗読されました。

自分がどんどん駄目になっていくので不安です。
妻に迷惑をかけているのですまないと思います。
私は頭は病気でも体は元気です。だからすることを
言ってもらえればゆっくりだけど大抵のことは出来ます。
人の役に立って喜ばれたいし、感謝されたいです。
元気になりたいです。なんでこんなになったのか悔しいです。

(若年性認知症 52 歳男性)



私のことを「認知症」だなんて呼ばないで。「認知症」という言葉でわかったつもりにならないで。病気をケアしようとするのではなく、「認知症」と共に生きている私にどうかあなたの力を少しだけ貸してください。

参加者のアンケートにも本当の意味での寄り添うというケアについて改めて考えさせられました、ささやかな支えになるお手伝いをしてみたいくなりました、認知症を患っても生き生き暮らせるしくみが出来ると思うとワクワクします、と前向きなご意見が多く寄せられました。またチームオレンジが良くわからない、サポートした時に困ったらどうしたら良いのか教えてもらいたい、など今後の課題提起もありました。これから認知症になる方は増加していくとされているなか認知症になったらおしまい、何も出来ない、ではなくどんな支援があればその人らしく暮らせるかに目を向けて活動していきたいと思っています。まだ手探り状態のチームオレンジですが市民の方々の熱い思いに力をいただきより良い活動に結びつけることが出来るようになっていきたいと思っています。

あなたは暮らしの中の困りごとを
だれかに相談したいと思ったことはありませんか!?

幼稚園の送り迎えや下の子の子育てにてんやわんや!
その上、両親の介護が重なってつらい

同居する両親の様子
がおかしい?
介護が必要に
なったのでは…

どこに
相談したら
良いのだろう?

お父さんは認知症になって
介護保険でデイサービスに
行けるようになったけど、
ずっと家にいる息子の将来
が心配! 私たちが死んだあ
とはどうなるのかしら

両親は働いているので
学校から急いで帰ってきて
おじいちゃんとおばあちゃん
の面倒を見なきゃいけない。
明日から試験なのに

障害者手帳をもらったけどコロナ禍で妻のパート
の仕事も少なくなり、少しでも働きたい。
子どもたちが働けるようになるまでどうしたらよ
いのだろうか

鎌倉市では、「困っていることをどこに相談すればよいの」、「困っている人が支援につながる窓口はどこなの」を探すときのヒントになるように、「かまくらサポートリスト」を作成しています。

かまくらサポートリスト



ここでは、サポートリストから、主な困りごとの分野ごとの相談先を紹介します。

学校・教育

小中学生の登校しぶり・不登校など学校生活に関する相談	鎌倉市教育センター相談室	0467-24-3386
いじめに関する相談	鎌倉市いじめ相談ダイヤル	0467-24-5235
体罰に関する相談	鎌倉市教育指導課	0467-23-3000
学校や家庭に関するさまざまな相談	24時間子どもSOSダイヤル	0120-07-8310 0466-81-8111

家庭・人間関係

夫婦、家族関係、暴力などの相談	鎌倉市地域共生課 女性のための相談室	0467-23-9311
	女性のためのDV相談窓口	0466-26-5550
	男性のためのDV相談窓口	0570-033-103
子どもの健康に関する相談	鎌倉市市民健康課	0467-61-3944

子どもの発達に関する相談	鎌倉市発達支援室	0467-23-5130
育児や育児をする方の相談	鎌倉市こども相談課 こどもと家庭の相談室	0467-23-0630
	テレホン相談(子ども・家庭 110 番)	0466-84-7000
	神奈川県鎌倉三浦地域 児童相談所	046-828-7050
子ども・若者の引きこもりや閉じこもりなど様々な悩みに相談	かながわ子ども・若者 総合相談センター (ひきこもり地域支援センター)	045-242-8201
障害に関する相談	鎌倉市障害福祉課	0467-61-3975
高齢者の方の生活に関する相談	お住まいの地域の地域包括支援センター	

暮らし

経済的な困り事の相談	インクル相談室鎌倉	0467-46-2119
	鎌倉市生活福祉課	0467-61-3972
相続などの法律的な相談	くらしと福祉の相談窓口	0467-61-3864
商品やサービスの契約トラブルなどの消費生活に関する相談	鎌倉市消費生活センター	0467-24-0077
市税の納付に関する相談	鎌倉市納税課納税担当	0467-61-3915

こころ・からだ

健康に関する相談	鎌倉市市民健康課	0467-61-3946
こころの相談	神奈川県鎌倉保健福祉事務所	0467-24-3900
大切な人を亡くしてつらい	神奈川県精神保健福祉センター 自死遺族電話相談	045-821-6937
死にたくなるほどつらい	横浜いのちの電話	045-335-4343

仕事

賃金、過重労働、ハラスメントの相談(労働相談)	鎌倉市商工課	0467-61-3853
職場の人間関係などの相談 (メンタルヘルス相談)		
働くことや自立に不安や悩みを抱えている方の相談	湘南・横浜 若者サポートステーション	0467-42-0203
これまで働いたことがない、働いても続かないなど、働くことでお困りの方の相談	スリー・プラス鎌倉 (鎌倉市就労準備支援事業)	0467-38-8242

福祉総合相談

複数の困りごとの相談、相談窓口がわからない方の相談窓口	くらしと福祉の相談窓口	0467-61-3864
-----------------------------	-------------	--------------

鎌倉市の重層的支援体制整備事業

鎌倉市では、個人や世帯が抱える課題に対して「丸ごと」支援する地域社会の実現へ向けて、具体的に取り組んでいくために重層的支援体制整備事業を始めています。

多分野にまたがる相談の連携・調整を行う包括的相談支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、多機関協働事業などの事業を鎌倉市社会福祉協機が受託し、Libero かまくらを開設しました。

「生活支援」について一緒に考えてみませんか！？

～「かまくら生活支援塾」開講！～

かまくら地域介護支援機構では、2021年9月より長野大学の太田貞司先生を招いて「かまくら生活支援塾」として、介護・福祉等様々な専門職が集まり「生活支援」についての勉強会を実施しています。

勉強会にご協力をいただいている太田貞司先生と鎌倉市とはご縁があり、2004年～2018年の間、鎌倉市介護保険策定委員会・運営委員会委員長として就任されてきました。当時は、神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部の教授で、鎌倉市の介護保険に関する内情に詳しく、かまくら地域介護支援機構が実施する研修会講師としても大変お世話になっていました。

太田先生と共に学びを深めている「生活支援」をテーマにした勉強会「かまくら生活支援塾」の前身となっているのが、2010年から2017年頃まで開催していた「かまくら生活支援研究会」です。発足当初からオブザーバーとして太田先生を招き、NPOセンター鎌倉2階会議室で介護・福祉・看護等多職種が自主的に集まり、細々と生活支援に関する様々なテーマで自由に意見交換を行っていました。昨年、樽井前理事長の声掛けにより、その「かまくら生活支援研究会」は、かまくら地域介護支援機構の事業として位置付けられ「かまくら生活支援塾」の名称でリニューアルし復活しました。

「生活支援」と一言と言っても、サービス等を利用されているご利用者の状態や状況、専門職の立場や役割によって捉え方が微妙に異なっています。復活した「かまくら生活支援塾」では、様々な職種の方が集まり、多角的な視点で「生活支援」についての意見交換を行っています。1回目は太田貞二先生より「エッセンシャルソーシャルワークとしての『介護福祉実践』の意義」についてのお話を伺い、2回目には、訪問介護支援事業所の介護福祉士の方からの問題提起をいただき、在宅で生活する高齢者等の「生活」を「支援」する事について参加者の皆さんと意見交換を行う等、月1回のペースで様々な専門職が集まり、「生活支援について」をメインテーマに勉強会を開催しています。

この勉強会は初回からオンライン形式で開催し、多くの専門職の方が参加しています。「専門職じゃないけれど参加できますか？」・・・はい！！参加できますよ！この勉強会に興味・関心のある方であれば、どなたでも参加出来ます。「生活支援」を一緒に考えてみませんか？

参加希望の方は、かまくら地域介護支援機構事務局までお気軽にお問い合わせください。

多くのご参加お待ちしております。



「かまくら生活支援塾」
毎月第2月曜日
18:45～20:00 オンライン開催

日頃より広報紙「輝く介護」をご愛読いただきありがとうございます。2002年11月の創刊以来市民の皆さまに親しみやすくをモットーに介護の情報を紹介してまいりましたが、今号をもって休刊とさせていただきます。

今後はかまくら地域介護支援機構のHPにて市民の皆さまに様々な情報発信を行っていきたいと思っております。引き続きのご利用をよろしくお願いいたします。

かまくら地域介護支援機構 HP <https://kamashien.com/>

